

鷓川むかわ町水害タイムライン 第1回検討会

平成30年5月24日(木)にむかわ町四季の館において、「鷓川むかわ町水害タイムライン第1回検討会」を開催しました。タイムラインは、鷓川で風水害が発生する可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して地域住民及び防災対応者の安全確保を図るための事前防災行動計画です。鷓川の下流域で氾濫が発生することを想定して、平成30年度に5回の検討会を行い、年度内に「鷓川むかわ町水害タイムライン試行版」を策定し、運用を開始することを予定しています。



【実施日時】 平成30年5月24日(木) 13:30~15:30

【実施場所】 むかわ町四季の館 1階研修室

【参加者】 むかわ町・防災関係機関・有識者 58名

開会の様子

開会に際し、むかわ町の竹中町長と室蘭開発建設部の平野部長より挨拶を頂きました。竹中町長は「昨年は大きな台風災害はなかったが、融雪出水による浸水・冠水被害があった。地域防災力の充実に努めていくことは急務であり、防災機関との緊密な関係構築を目指していきたい。」と話され、平野部長は「鷓川では過去に度々洪水被害が発生している。事前の迅速かつ確かな防災対応で被害低減等を目指していきたい。」と述べ、タイムライン策定への期待を表明されました。



趣意・設置要綱等説明

室蘭開発建設部の天野治水課長より本検討会の開催趣旨について説明が行われました。また、検討会開催スケジュールの説明の他、検討会の設置要綱並びに検討体制、座長・アドバイザー等についての提案がなされ、全会一致で承認されました。



議事

議事は本検討会座長に就任して頂いた黒木座長の進行で行われました。冒頭、座長就任挨拶では、「タイムラインはどこに重点を置いて検討するかにより、策定されるものが大きく異なる。タイムラインは策定されてそれで終わりではなく、運用していくことで、むかわ町にとってより良いものにしてほしい。」とお話されました。

続いて、室蘭地方気象台の田辺防災管理官から気象現象・情報について、室蘭開発建設部の旭専門官から河川水位や氾濫状況等に関する想定について、それぞれタイムライン検討のベースとなる災害シナリオと、その際に考慮すべき災害事象を盛り込んだ災害リスクについて説明がありました。

その後、今後の検討を円滑かつ深いものにしていくため、座長の進行により、災害シナリオ・リスクに関する質疑応答の時間がとられました。黒木座長からは、L1とL2の違いについて詳しく説明を求める質問や、避難時において浸水域内を移動する際には浸水深だけでなく流速も影響してくるのでその移動困難度等のわかりやすい見せ方の要望がありました。室蘭開建の天野課長からは「いつ判断を下せばいいのか」というのが重要な要素なので、むかわ町は目標とする行動目的を達成するのに必要な所要時間の見積りを意識して必要なトリガー検討に取り組んでほしい、との補足説明がありました。



アドバイザーからの助言

本日の検討会の内容を受け、アドバイザーに就任した志田氏より「前線や台風は過去と同じものは2つとなく、気象情報はこの検討会のためだけでなく、普段の生活でも活用してほしい。」とのコメントをいただきました。



閉会の様子

最後に、室蘭地方気象台の白戸台長より「タイムライン検討会は全体で共通の認識を持つことが非常に重要である。検討会を通して顔の見える関係をさらに深め、策定されたタイムラインは魂のこもったものとしてほしい。」との挨拶がなされ閉会となりました。

